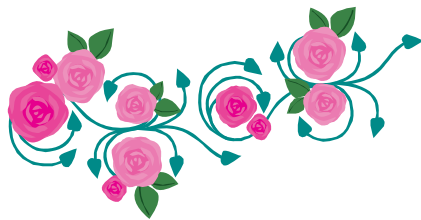


**横浜市における
こんにちは赤ちゃん訪問事業
＜地域の支援力との連携＞**

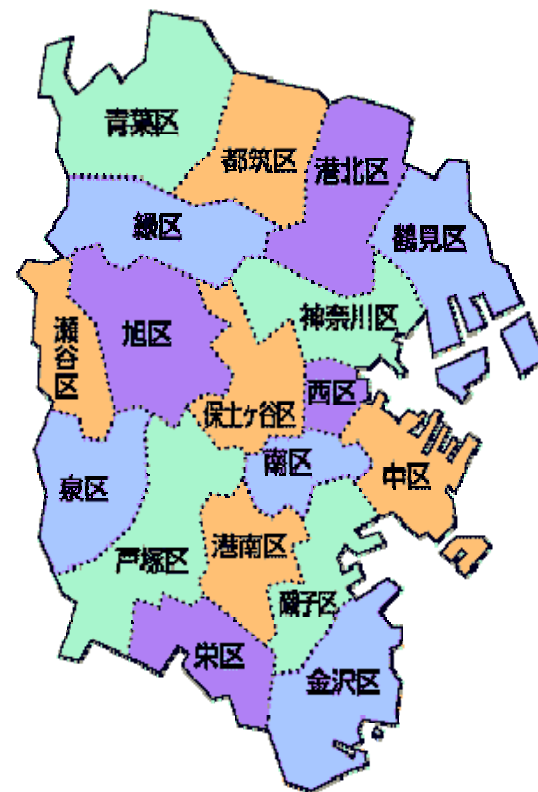
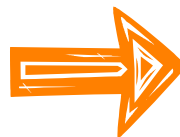
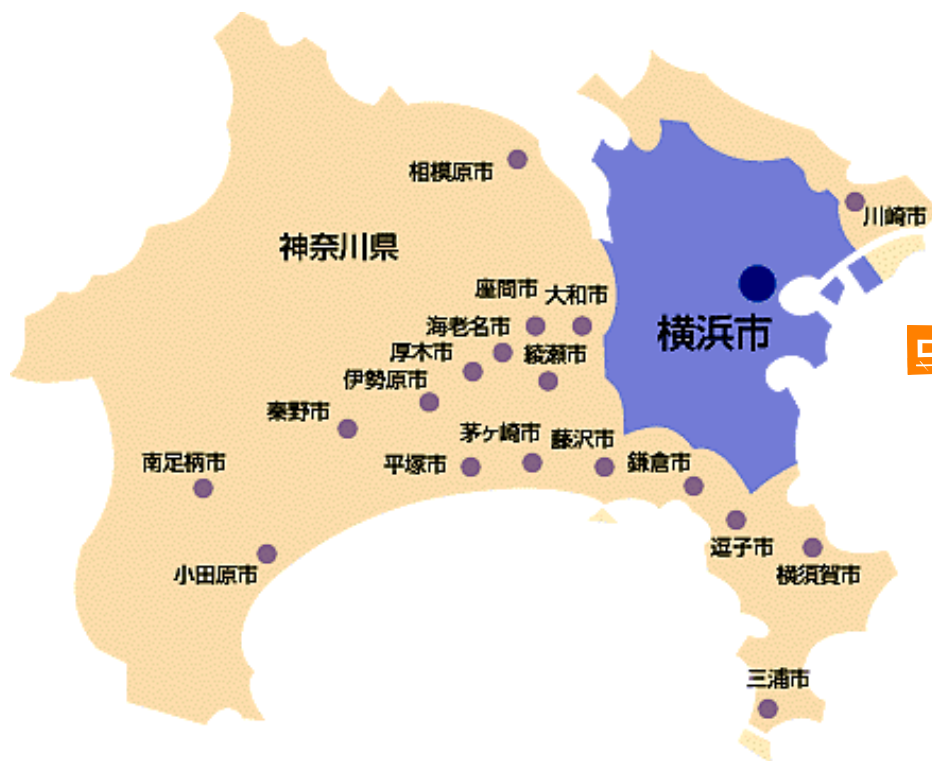


横浜市こども青少年局
こども家庭課 丹野 久美



横浜市の概要

神奈川県の一部に位置し、一番大きな市です

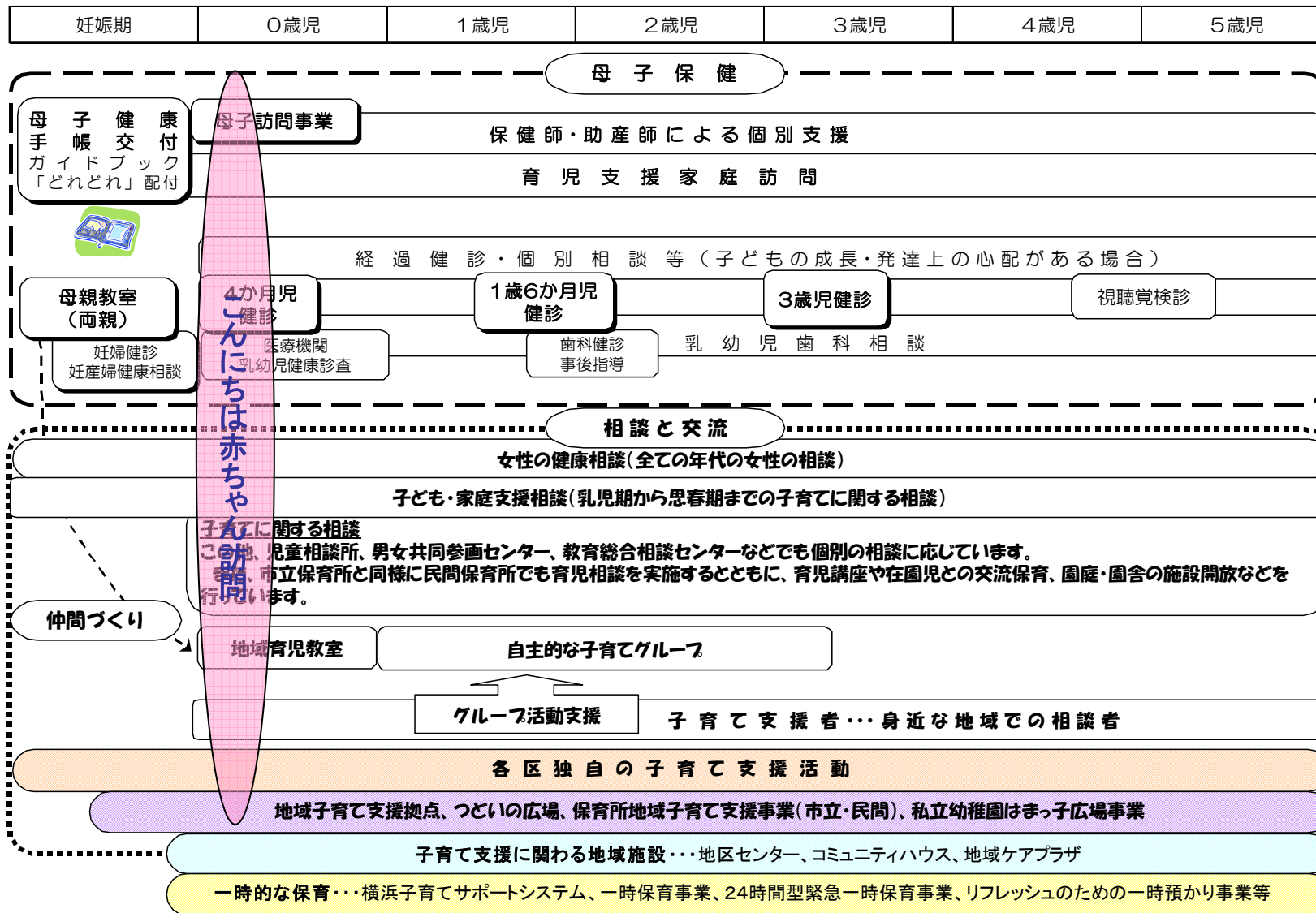


横浜市は政令市で、18区あります
人口は 約360万人、世帯数約160万世帯
年間出生数は約3万2~3千人で推移
65歳以上人口比 約18% 平均年齢42歳

横浜市の福祉・保健の特徴

- 保健師数 定数 412人
(内訳)区こども家庭支援担当 118人
福祉保健相談 18人 高齢者支援 105人 障害者支援 19人
事業企画 18人 健康づくり 73
こども青少年局 6人 健康福祉局 12人 その他の局 5人
課長・係長職 45人
- 各区への助産師の配置
- 社会福祉職の採用
- 精神保健福祉を担当する社会福祉職の存在
- 区づくり推進事業費による区独自の事業展開が可能

横浜市の子育て事業体系



子育てに関する相談
 この地域、児童相談所、男女共同参画センター、教育総合相談センターなどでも個別の相談に応じています。
 また、市立保育所と同様に民間保育所でも育児相談を実施するとともに、育児講座や在園児との交流保育、園庭・園舎の施設開放などを行います。

横浜市における母子訪問指導事業（新生児訪問）と こんにちは赤ちゃん訪問事業の整理

	母子訪問指導事業	こんにちは赤ちゃん訪問事業
対象者	基本的には第一子	生後4か月までの赤ちゃんのいる全家庭
訪問者	母子訪問指導員（委嘱助産師・保健師） 低体重児、ハイリスク、病院からの引継 ケースや第二子以降の希望者は区の保 健師・助産師が訪問	現在693名に委嘱 （内訳） ・民生委員・児童委員、主任児童委員 ・保健活動推進員、子育て支援事業、 子育てサークル、子供会、ボーイスカウト等
目的	新生児及び乳児の発育・発達等育児上 必要な事項について助言することにより 育児不安の軽減や母体の回復を図り、 必要な情報提供を行うことで母親が安心 して育児ができるよう支援	地域の方による子育て支援に関する情報の 提供を介して、地域の方とつながり、こどもを 見守る地域づくりを目指す ・「おめでとう」と赤ちゃんを地域に迎える ・母子を孤立させない。 ・早期に多くの赤ちゃんのいる家庭を把握 リスク＞個人情報管理・保護

横浜市における事業の流れ

